

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房および乳房外パジェット病	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Mammary and Extramammary Paget's Disease: an immunocytochemical and ultrastructural study	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ2-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	59	
	号		
	ページ	1173-83	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月		
	著者情報		氏名
筆頭著者		Ordóñez NG	Department of Pathology, University of Texas M.D. Anderson Hospital
その他著者 1		Awalt H	同上
その他著者 2		MacKay B	同上
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	パジェット細胞の特徴および起源の検討	
	研究デザイン	症例対照研究	
	セッティング	Department of Pathology, University of Texas M.D. Anderson Hospital	
	対象者	パジェット病 21 例（乳房 8 例、女性外陰部 11 例、肛囲 2 例）	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず（ 1 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず（ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず（ 22 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
主な結果	全例において、パジェット細胞は単層上皮型ケラチン（PKK1、35βH11）陽性、全表皮型ケラチン（34βE12）陰性。乳房 4 例、女性外陰部 6 例、肛囲 1 例において GCDFP-15 陽性。GCDFP-15 は正常エクリンおよびアポクリンの分泌部と導管部の両者にも陽性。電顕的にはパジェット細胞は豊富なムチン小滴を有していた。		
結論	パジェット細胞は腺癌細胞であり、乳房および乳房外パジェット病は内臓癌の直接浸潤の場合がある。		
備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	清原隆宏	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） パジェット病の起源を検討した初期の論文である。肛門管癌からパジェット現象を生じた肛囲例 1 例が GCDFP-15 陽性であったとしているが、詳細な記載がなく、肛門管原発か肛囲原発か不明である。	